

地球温暖化防止など、
環境への負荷が少ない
住まいづくり・住まい方が
求められています。
そこで、こうした住まいづくり・
住まい方を進めるため、
工夫やアイデアに富んだ
住宅・住まい方を募集しました。



第3回

埼玉県 環境住宅賞 作品集

主催:  埼玉県住まいづくり協議会

後援:  埼玉県

総評

第3回埼玉県環境住宅賞は応募の数も多く優れた提案も多く、大変レベルの高い内容の審査会でした。特に建築部門の選定は難しく入選以外にも優れたものがたくさんありました。

住宅は敷地の特性や住まい手のライフスタイルの違いで多様になるのは自然なことですが、今回特に印象的なことは敷地が狭く、地形も普通に設計できないケースが多く、設計者には、知恵と感性の高さが求められたと思われました。またそういう条件下でもパッシブ指向の作品が多いことが印象的です。住まいと形作る要素に不変的部分(例えば、庇の出や窓の位置や大きさ、断熱材の種類や厚さなど)と変り易い部分(例えば技術進歩の激しい設備機器)がありますが、不変的要素で環境住宅の基本を達成する住宅づくりが多かったのです。

建築部門では日射制御の深い庇、中間期に開放することが前提の通風配慮の窓、地熱利用、樹木等植物の活用、地域の森林・林業やウッドマイレージを意識した地域木材の利用、セルローズファイバーの断熱材の利用など基本的な環境住宅技法を使いこなした良案が多かったのは本当に素晴らしい傾向と思います。とはいえ建築の専門家として、日々進歩している住宅用省エネ設備にも関心をもっていることも重要なことです。

リフォーム部門は以前の建物を大切にしつつ、新しいライフスタイルに適合する作品が提案されています。「もの」を大切にすると同時に生活の思い出、「生活の歴史」を残す重要性を訴えたリフォームは感動です。

住まい手部門ではバルコニーに日除けのスクリーンを工夫して取付け、それまでとは全く違った快適な居住空間を発見できた喜びが伝わってくる提案がありました。そのようなちょっとしたことでも住まい手が住宅に積極的に係わることは地域環境を快適にする大切なことと思います。

アイデア部門には環境住宅をつくる基本的要素を取り入れたたくさんの提案がありました。木造のこれからの技術として注目されているCLTをいち早く用いた先進的なアイデアも注目されました。

学生部門は住宅団地の環境改善のための大胆な提案は学生らしい意欲を感じるものでした。着実な提案から斬新な提案まで、学生らしくよく考えた提案を今後も期待したいところです。

第3回埼玉県環境住宅賞の流れ

審査委員会 平成27年5月20日(募集要項の決定)

募 集 平成27年7月1日～9月30日

応募作品	95作品
・建築部門	37作品
・リフォーム部門	3作品
・住まい手部門	3作品
・アイデア部門	44作品
・学生部門	8作品

審査委員会 平成27年11月18日(作品審査)

表彰式 平成27年12月18日



目 次

審査委員長総評	1p
目次	2p
最優秀賞	3p
優秀賞	4～7p
入選	8～12p
奨励賞	13～16p
応募作品	17～22p
概要	22p

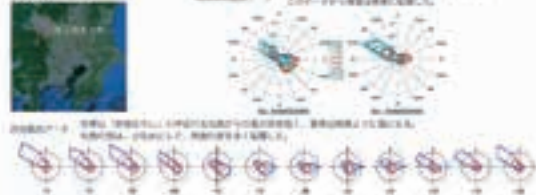


最優秀賞(建築部門)

本庄の家



気候データ



建物概要

埼玉県に広がる自然豊かな環境に、自然の恵みを感じながら暮らすための家。自然の恵みを感じながら暮らすための家。自然の恵みを感じながら暮らすための家。



街並みに配慮

周囲の建物と調和し、景観に配慮したデザインを採用しています。周囲の建物と調和し、景観に配慮したデザインを採用しています。



風と雨を取り込む

風の通り道として、天井や壁の断熱性を確保し、自然の恵みを感じながら暮らすための家。風の通り道として、天井や壁の断熱性を確保し、自然の恵みを感じながら暮らすための家。



エアコン1台で済ませる

省エネ設計により、エアコン1台で済ませることが可能です。省エネ設計により、エアコン1台で済ませることが可能です。



雨を逃さず

屋根の傾斜や排水設備により、雨水を効果的に排水しています。屋根の傾斜や排水設備により、雨水を効果的に排水しています。



県産材を使う

地元産材を使用することで、輸送エネルギーの削減とCO2削減を実現しています。地元産材を使用することで、輸送エネルギーの削減とCO2削減を実現しています。



データ

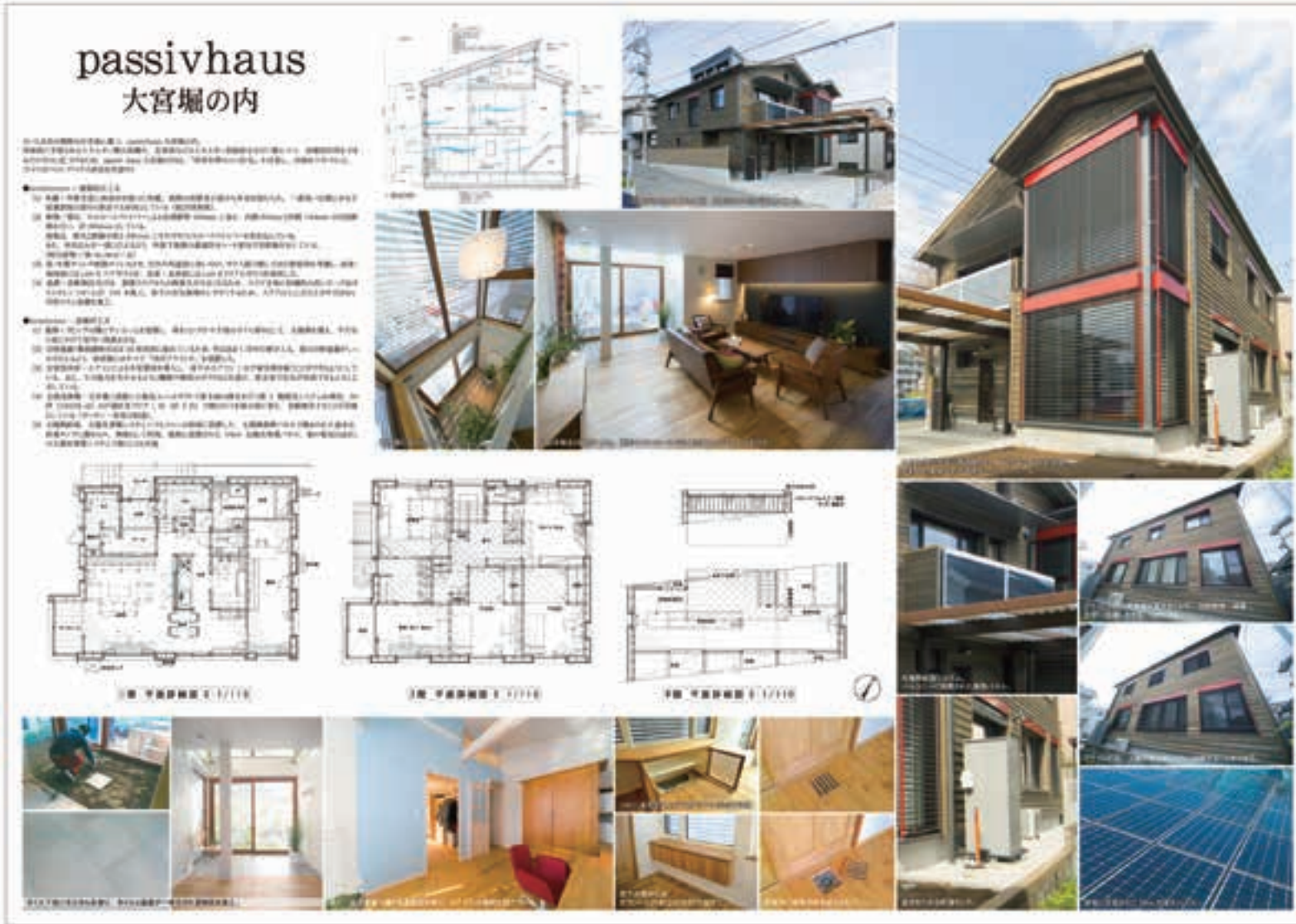
- 所在地 ■ 本庄市
- 構造・階数 ■ 木造・2階
- 敷地面積 ■ 311.67㎡
- 延床面積 ■ 131.24㎡
- 建築面積 ■ 86.12㎡
- 工期 ■ 平成27年2月～8月
- 工事費 ■ 約2,900万円
- 居住者構成 ■ 15歳未満 2人
15歳以上65歳未満 2人
- 応募者 ■ ㈱小林建設
- 設計者 ■ ㈱小林建設一級建築設計事務所
- 施工者 ■ ㈱小林建設

講評

本庄市は、夏暑く、冬は寒風が強い地域です。そのような自然条件の中で、夏は風を上手に取り込み、冬は日光をいっぱい取り入れ、一次エネルギーの消費を削減しています。室内の空気の流れを利用することによってエネルギー負荷を減らした埼玉版の passivehouse でしょうか。エアコン一台で室内中の冷暖房をまかなえるのは、窓や壁の断熱により高气密化されているからです。県産材認証木材を土台、柱、梁に使用することで、県産材の利用促進が図られ森林保全を活性化させます。またウッドマイルージを小さくすることで、輸送エネルギーの負荷を減らしCO2削減につなげています。周りの環境にも配慮したこのような低炭素な暮らしは、持続可能な未来を作ります。(審査委員：秋元 智子)

優秀賞(建築部門)

passivhaus 大宮堀の内



データ

- 所在地 ■さいたま市
- 構造・階数 ■木造・2階
- 敷地面積 ■200.41㎡
- 延床面積 ■182.59㎡
- 建築面積 ■94.61㎡
- 工期 ■平成26年11月～
平成27年3月
- 工事費 ■約9,286万円
- 居住者構成 ■15歳未満 2人
65歳以上 2人
- 応募者 ■(株)OKUTA LOHAS studio
デザインチーム
- 設計者 ■(有)西方設計
- 施工者 ■(株)OKUTA

講評

建物全体を秋田杉で囲った温かみのある素材が自然と調和しシンプルなデザインと相まっていい建物ですね。西側のサンルームと吹き抜け部を大きな外付ブラインドでアクセントにするなど、お洒落な色合いも素敵な建物であります。掃除は大変とは思いますが、もちろんこの外付ブラインドが日射遮蔽にもしっかり対応している。

冷暖房負荷を抑えるために、各部屋の方位、用途別にサッシやガラスの仕様を変えている。蓄熱についてはこれから永く住んで結果を聞きたいと思いますが、風の流れを計算し、建物内の部屋には欄間を設け、階段室壁、手すり等はガラタイプにするなど、多くの工夫がしてあるなど、水準の高いエコ住宅であると確信した優秀賞にふさわしい作品であります。

(審査委員:佐藤 啓智)

優秀賞(リフォーム部門)

騒音・寒さ暑さを解決! 埼玉の新聞で地産地消ハウス

騒音・寒さ暑さを解決! 埼玉の新聞で地産地消ハウス



2F 1F 2F 1F

2F 1F 2F 1F

2F 1F 2F 1F

2F 1F 2F 1F

2F 1F 2F 1F

2F 1F 2F 1F

データ

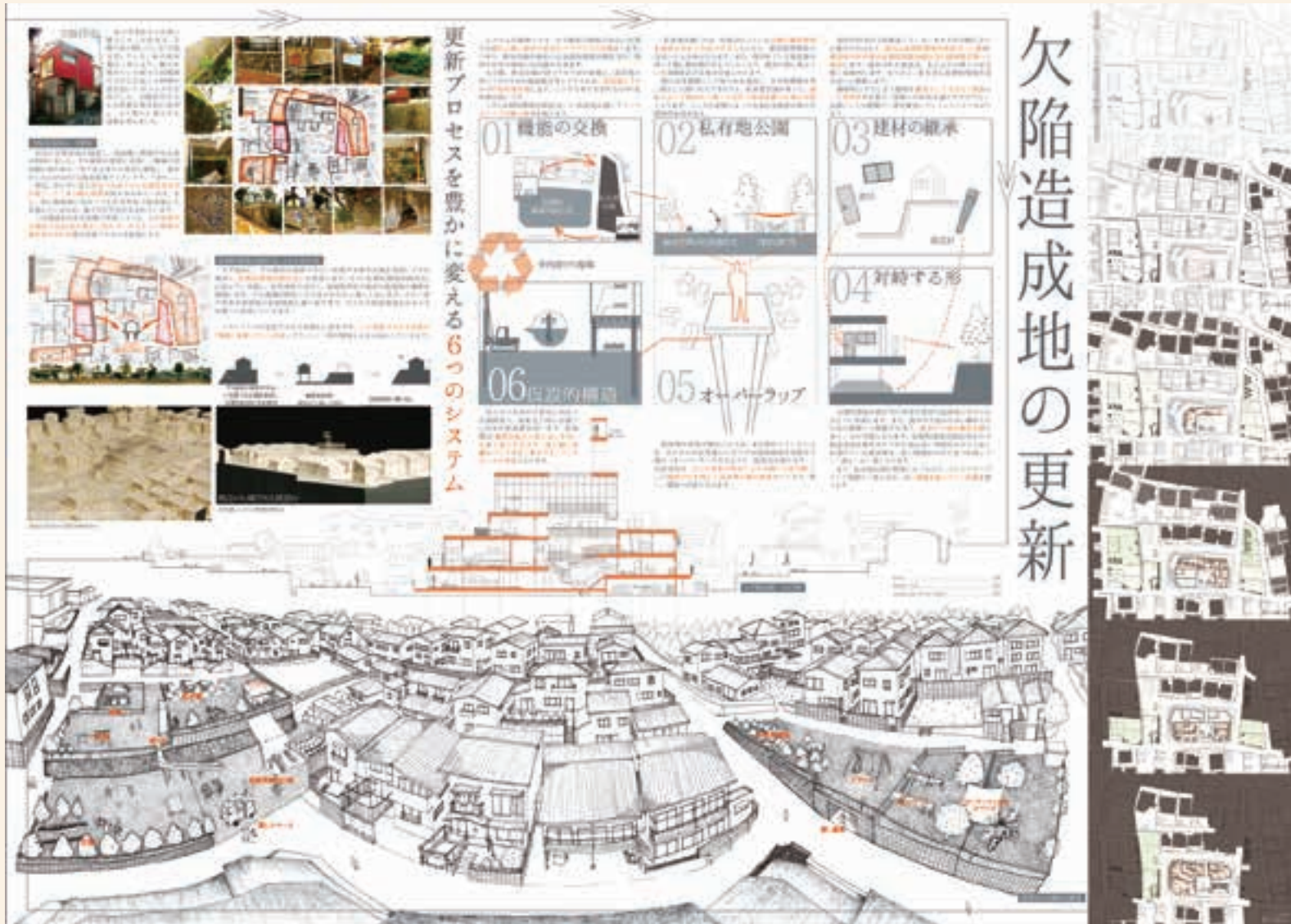
- 所在地 ■ 鴻巣市
- 構造・階数 ■ 木造・2階
- 敷地面積 ■ 183㎡
- 延床面積 ■ 115㎡
- 建築面積 ■ 86.95㎡
- 工期 ■ 平成26年1月~3月
- 工事費 ■ 1,600万円
- 居住者構成 ■ 15歳以上65歳未満 2人
- 応募者 ■ (株)OKUTA LOHAS Studio
デザインチーム
- 設計者 ■ (株)OKUTA
- 施工者 ■ (株)OKUTA

講評

リフォームの決め手は古新聞を再利用したセルロースファイバーを断熱材に使用すること。これが地産地消でLCA的にも望ましく、UA値0.54W/m²Kを達成。風光シミュレーションにより地域の卓越風をウィンドキャッチャーで取り込み、蓄熱土間の温度差も巧みに利用した立体通風も実現。防音性、耐震性にも優れ、開放的な間取りで動線処理も改善され、壁天井を白で明るく、意匠も好印象の仕上がりになっており、長期優良住宅リフォームのS基準も達成。全体のバランスの良さが光る好設計事例。(審査委員：外岡 豊)

優秀賞(学生部門)

欠陥造成地の更新



データ

所在地 ■ 川口市 (想定)
構造・階数 ■ 混構造・5階
敷地面積 ■ 784㎡
(既存敷地含めて約 3,000㎡)
延床面積 ■ 1,381㎡
建築面積 ■ 623㎡
応募者 ■ 芝浦工業大学
秦 達也

講評

これは力作です、そして発想転換への柔軟性のあるすばらしい作品です。現在ある機能を交換します。公園を低地に残すのではなく、あえて気持ちのよい斜面高台に配置します。残された低地には基礎を高く造り、その上に住宅を建てます。これらの住宅を、高台にある公園の緑と対峙させます。公園の自然をより適した場所でその良さを十分に生かし、反対に低地という湿り気のある場所をしっかりとした構造で高く支え住まいをのせる、欠陥造成地をみごとに甦らせました。

(審査委員：片瀨 重幸)

入選(建築部門)

Higurasu hut (日暮す小屋)



応募者 ■ 氣仙 勘祿

データ

所在地 ■ 入間市
 構造・階数 ■ 木造・2階
 敷地面積 ■ 588.43㎡
 延床面積 ■ 99.78㎡
 建築面積 ■ 64.94㎡
 工期 ■ 平成26年11月～平成27年6月
 工事費 ■ 約1,400万円
 居住者構成 ■ 15未満 2人
 15歳以上 65歳未満 2人
 設計者 ■ 氣仙 勘祿
 施工者 ■ (有)諸井工務店

講評

この小屋でどのような暮らし、ライフスタイルを送られているのでしょうか。日本家屋の良さを取り入れた深い軒や土間、自然エネルギーである光や熱、風の活用。それからまわりの自然と調和したデザイン。現代において、薪ストーブによる暖房は价格的にも精神的にも贅沢な暮らし方ではないでしょうか。ゆっくりと時が流れていくようで、住まい手のこだわりを感じます。ローテクなイメージの中に現代の省エネ技術も取り入れ、効率的なエネルギー利用を実現しています。日暮す小屋には最新の省エネ技術と昔ながらの住まいの工夫をマッチングさせた環境配慮の知恵がいっぱい詰まっています。(審査委員：秋元 智子)

入選(建築部門)

緑のカーテンの家 ～パッシブシステムと建築の一体化～



応募者 ■ (株)オーガニックデザイン一級建築士事務所 代表取締役 熊木 英雄

データ

所在地 ■ 戸田市
 構造・階数 ■ S造・1階
 敷地面積 ■ 600㎡
 延床面積 ■ 130.77㎡
 建築面積 ■ 128.07㎡
 工期 ■ 平成23年1月～9月
 工事費 ■ 約4,000万円
 居住者構成 ■ 15歳未満 2人
 15歳以上 65歳未満 2人
 設計者 ■ (株)オーガニックデザイン
 一級建築士事務所
 施工者 ■ (株)礎コラム

講評

緑のカーテンは人が住まう内と外との間にあり、太陽からの紫外線そして夏の暑い日射を遮断し、その他、人が受ける必要のある太陽のすべての恩恵を受けさせてくれます。このカーテンは、窓の上から庭の芝生に向い、その緑と融合してゆきます。住んでいる人にばかりでなく、道行く人々にもこの緑がやさしく語りかけてくれることでしょう。(審査委員：片淵 重幸)

入選(建築部門)

地熱の家



応募者 ■ (株)ムサシノ建設 代表取締役 鈴木 貴之

データ

所在地 ■ 上尾市
 構造・階数 ■ 木造・2階
 敷地面積 ■ 409.90㎡
 延床面積 ■ 138.09㎡
 建築面積 ■ 89.43㎡
 工期 ■ 平成22年9月～平成23年2月
 工事費 ■ 約 2,890 万円
 居住者構成 ■ 15 歳未満 1 人
 15 歳以上 65 歳未満 2 人
 設計者 ■ (株)ムサシノ建設一級建築事務所
 鈴木 貴之
 施工者 ■ (株)ムサシノ建設 鈴木 貴之

講評

自然の理を採用したシンプルな環境共生建築物。真夏でも真冬でも地下からの地熱を利用し、年間を通して室内温度が一定に保てるシステムである。このシステムを利用するには、ある程度の制約があるかと思っただが、通常の間取りでも対応できるようなシステムであると確信。今年の真夏のような暑い日でもエアコン利用がかなり減るのではないかと思う。建物の形状では南側庇を大きくだし、各季節ごとに太陽高度が変わる角度を考慮して設計している。これからの空調負荷の低減をめざした意欲的な作品である。
 (審査委員：佐藤 啓智)

入選(リフォーム部門)

僕が住むよ! 思い出を性能に変えて ～祖父母との思い出を忘れない～



応募者 ■ (株)OKUTA LOHAS studio デザインチーム

データ

所在地 ■ 川口市
 構造・階数 ■ 木造・2階
 延床面積 ■ 61㎡
 工期 ■ 平成26年10月～
 平成27年1月
 工事費 ■ 約 2,400 万円
 居住者構成 ■ 15歳以上65歳未満 1人
 設計者 ■ (株)OKUTA
 施工者 ■ (株)OKUTA

講評

施主が幼い時に祖父母と行き来した建物のリフォームである。外壁のモルタル撤去から建物内部の大掛かりな改修工事を行い、通風も良くなるよう設計し、断熱効果に対してはサッシ、硝子の交換、セルロースファイバー施工等々、内装材には珪藻土を使用するなど環境面にもやさしい建物である。省エネ機器がどのようなものを使用しているか判断できてはいないが、思い出を性能に変えて住むことにした意欲が素晴らしい。
 (審査委員：佐藤 啓智)

入選(住まい手部門)

リビングの先に広がる光のオアシス



応募者 ■ YKK AP(株) 山根 秀友

データ

所在地 ■ さいたま市
構造・階数 ■ RC造・9階
延床面積 ■ 75㎡
工期 ■ 平成27年6月
工事費 ■ 約9万円
居住者構成 ■ 15歳以上65歳未満 4人
施工者 ■ ダイア建設

講評

共同住宅という限られた条件の中、ベランダへの一枚の半透明の幕の取り付けというほんのちょっとした工夫だけで、夏の暑い直射日光を遮り、しかも眺めはそのままと、すばらしい空間をつくりあげました。小さなすてきなオアシスでのティータイム、ここよく、とてもいいですね。
(審査委員：片淵 重幸)

入選(アイデア部門)

外構から考える住まい提案



応募者 ■ (株)アキュラホーム 太田 恵莉

講評

建物平面計画と、外部写真が相違うが愛嬌であると考えてください……。防犯上心配であるが、アプローチ以外、四方を植栽、低い塀の外構で囲い開放感があり、自然の風、太陽を味方につけたところがいいですね。これからの日本の将来を背負って立つ若い方の未来が、環境共生に目を向けて頑張っていることに感謝です。
(審査委員：佐藤 啓智)

入選(アイデア部門)

季節ごとにライフスタイルを変える住まい方



応募者 ■(株)アキュラホーム 富樫 宏行

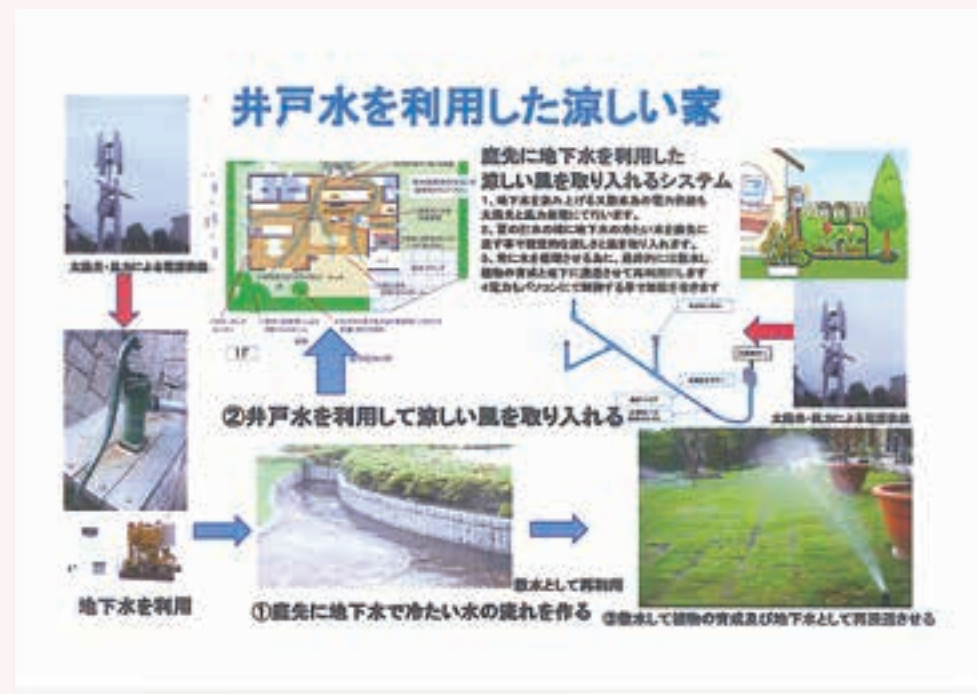
講評

季節に応じた生活は古来日本人の生活の基本形であったが、暖冷房前提の高気密住宅になって季節対応指向が薄れて、季節変化に向き合う気持ちも忘れられがちであったが、この提案は季節変化に応じた様々な生活の工夫を提案しており、模様替えて季節変化を楽しもうという姿勢に好感した。これをヒントに各家庭の独自の楽しみ方を工夫してネットで公開、自慢しあうのもよいと期待。

(審査委員：外岡 豊)

入選(アイデア部門)

井戸水を利用した涼しい家



応募者 ■(株)アキュラホーム 中田 幸夫

講評

ヒートアイランド対策の戸建住宅版。住宅室内の冷房ではなく庭周りの微気象改善で涼を得る戦略。ウーン郊外のラクセンブルグにあるハプスブルグ家の夏の別荘は冷房がない時代に数キロ角の広大な森林内に池をつくり、森を抜けて来る涼風で夏を過ごす宮殿だった。もっと狭い敷地でも井戸水散水すれば夏の離宮以上の涼房を得られるという提案。庭の風上と散水の涼風がくる風下、室内で温度、湿度を実測して効果を検証し、効果が大きい散水の仕方をぜひ公開してください。

(審査委員：外岡 豊)

入選(アイデア部門)

地産地消

～地元・埼玉の木をふんだんに取り入れたモデルハウス～



応募者 ■ (株)高砂建設 佐藤 太昭

データ

構造・階数 ■ 木造・2階
敷地面積 ■ 192.72㎡
延床面積 ■ 200.80㎡
建築面積 ■ 119.38㎡

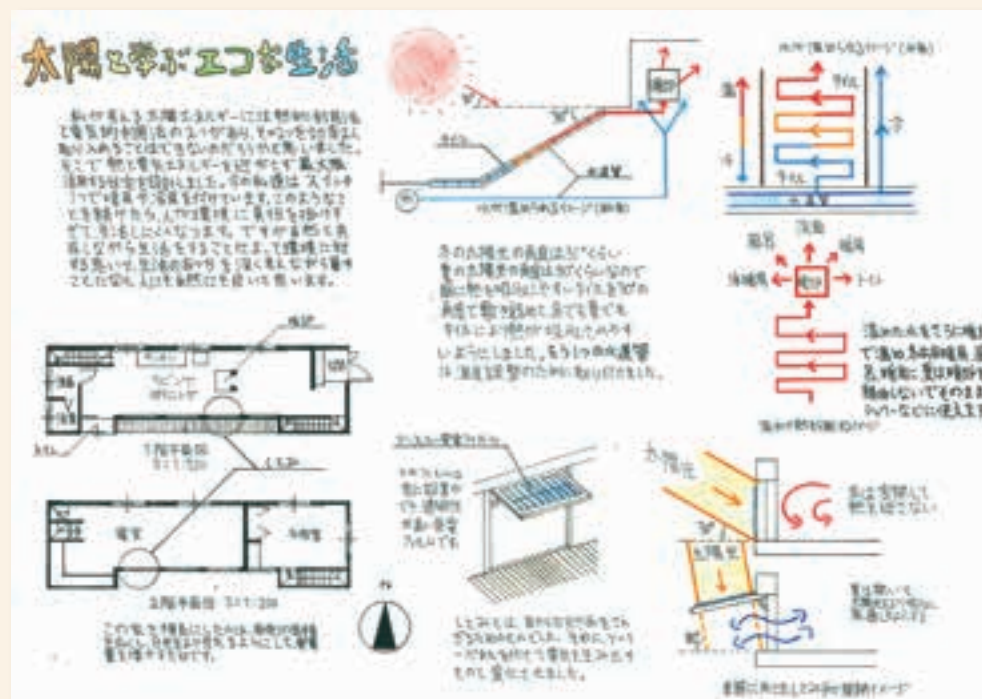
講評

埼玉県の木を使って、住宅と家具・建材をつくろうと呼び掛ける木造のモデル住宅による提案です。地産地消は今や地域活性化を推進する全国的な大合唱となっていますが、提案は「西川材」を大消費地である地元森林・林業の6次産業化を意識していることや遠方からの材を使うと輸送エネルギー消費が多くなり環境的にも良くないという主張も歓迎されるものです。

(審査委員：三井所 清典)

入選(学生部門)

太陽と学ぶエコな生活



応募者 ■ 埼玉県立大宮工業高等学校 丹羽 燎

データ

構造・階数 ■ RC造・2階
敷地面積 ■ 460㎡
延床面積 ■ 150㎡
建築面積 ■ 80㎡

講評

太陽の光エネルギー活用は、電気や熱利用に今後もっと広がってほしいと思います。冬の暖房や給湯は一年の中で一番エネルギーを使います。そのためCO₂の排出量も大きく、光熱費もかかります。今回の提案いただいた仕組みを家庭の中に導入できれば、冬の暖房エネルギーやコストの削減ができ、化石燃料にあまり頼らないエコな生活ができます。

(審査委員：秋元 智子)

奨励賞(建築部門)

蔵造の街、をイメージした、住みこなしを考えた環境共生エコ住宅



応募者 ■ (株)アキュラホーム 薦田 博幸

本庄 早稲田の杜の家



応募者 ■ (株)小林建設 野口 浩平

木蓮寺の家



応募者 ■ 一級建築士事務所 DROPDESIGN 清水 加陽子
 施工会社 ■ 矢嶋工務店 設計協力 ■ 戸塚 直哉、太田 陽貴

入間の家



応募者 ■ 白砂孝洋建築設計事務所 白砂 孝洋

奨励賞(リフォーム部門)

■ 間取りと思い出はそのままに 外付加断熱リフォーム



応募者 ■ (株) OKUTA LOHAS studio デザインチーム



奨励賞(住まい手部門)

■ 我が家のECO住宅



応募者 ■ (株)アキュラホーム 遠藤 雅人

■ 空気が通り抜ける家



応募者 ■ (株)東京ガス 粕谷 明男

奨励賞(アイデア部門)

■ 光熱費から考える住まい提案

光熱費から考える住まい提案

軽中世を設計。夏は太陽からの直射日光をさけ、冬は太陽光を取り込み、冷暖房の負担を軽減。天日や吹き抜けを設け採光を確保し、薪・薪の電気代を節約します。

① 夏は太陽からの直射日光をさけ、冬は太陽光を取り込み、冷暖房の負担を軽減。天日や吹き抜けを設け採光を確保し、薪・薪の電気代を節約します。

応募者 ■ (株)アキュラホーム 太田 恵莉

■ 手掘り井戸+ベランダビオトープのある家

【手掘り井戸+ベランダビオトープのある家】

庭先に設置した手掘り井戸とベランダに設置したビオトープを配管でつなぎ、朝晩に給水して涼を取り込む計画とする。また、水陸植物を栽培しメダカを放すなどの水質保全策も実施し、甲に水溜りて蚊の繁殖になる事を防ぐ。同時に目で見て楽しめる憩いのスペースとしたい。

設置場所は2階に限らず、1階にバルコニーを設置して利用しても良い。

水を貯める水溜はバルコニーへの取込の負担を考慮して、PFR等の軽量タイプを使用し、底石等も樹脂製の樹脂タイプを採用することで構造への負担を軽減する。

応募者 ■ (株)アキュラホーム 江森 浩

■ 空き家再生×エコまちづくり

空き家再生×エコまちづくり

近年、増加し続ける空き家問題。居住性の空き家再生は約1%にとどまっており、有効化した空き家は、周辺地域の活性化により地域に貢献度を果たしている。

空き家を積極的に活用した家づくりの推進により、暮らしの定着を促す。

ひとつひとつの空き家再生が蓄積することで、徐々に、実証されるまちへと変わっていくようにも、きつかけとなることを期待する。

太陽光発電を設置。新電力だけではなく、V2H運用。

シンクがけにて、緑の広がり。憩いやすさ。

再生水で涼しく、エコ空間。近所の人も好まれる。コミュニティの場。

応募者 ■ (株)アキュラホーム 八町 咲弥香

■ 空気が通り抜ける家

お風呂の方で空気の熱れを存り出し、夏の夜を快適に過ごそう！

お風呂の換気はこまめに、お風呂で空気が暖かくなるのは換気した空気を部屋へ送り出す。

お風呂の換気はこまめに、お風呂で空気が暖かくなるのは換気した空気を部屋へ送り出す。

お風呂の換気はこまめに、お風呂で空気が暖かくなるのは換気した空気を部屋へ送り出す。

お風呂の換気はこまめに、お風呂で空気が暖かくなるのは換気した空気を部屋へ送り出す。

応募者 ■ (株)東京ガス 西村 緑

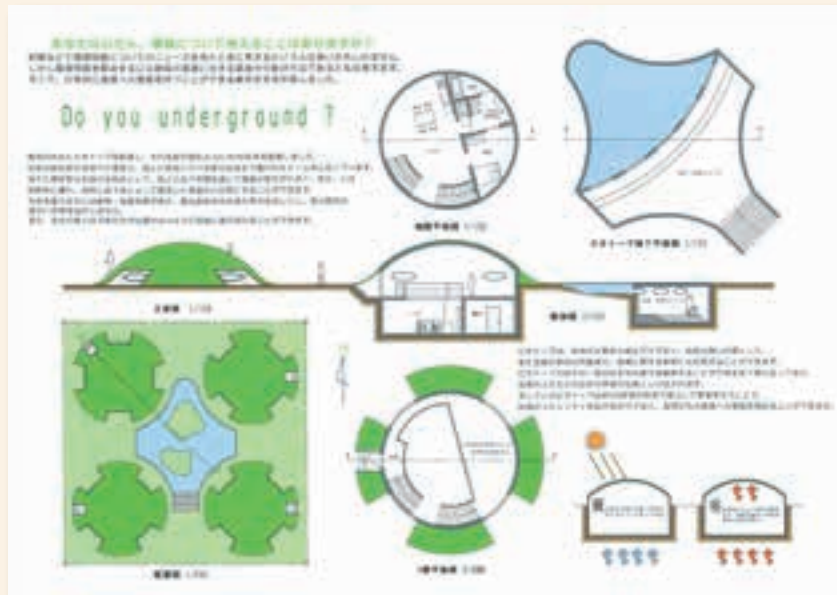
奨励賞(学生部門)

■ Bamboo Reinforced Concrete



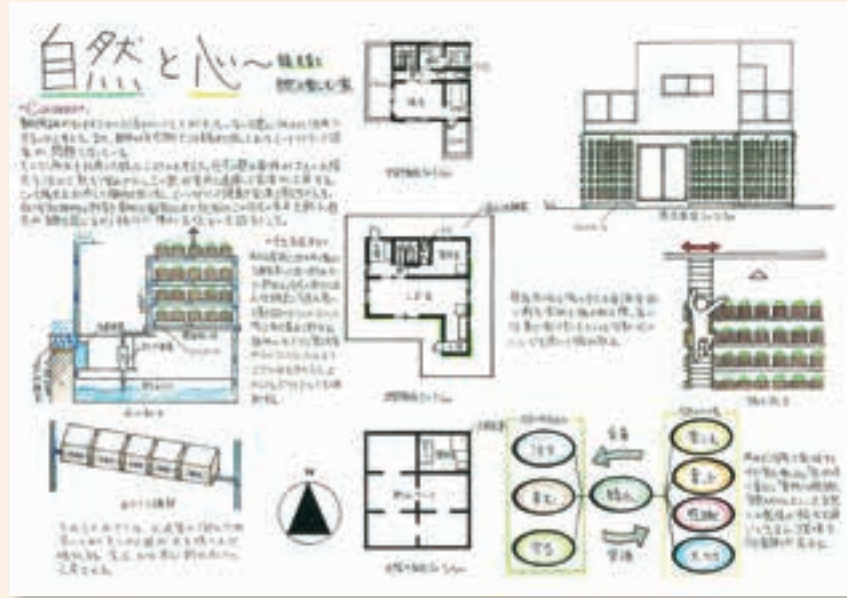
応募者 ■ 埼玉県立春日部工業高等学校 新井 勇利、黒沼 祐介

■ Do you underground ?



応募者 ■ 埼玉県立春日部工業高等学校 家島 匠

■ 自然と心 ~緑を育て自然と楽しむ家



応募者 ■ 埼玉県立大宮工業高等学校 根岸 寿明

■ 内外でも緑を感じる家



応募者 ■ 埼玉県立春日部工業高等学校 高樋 直也

応募作品(建築部門)

■ 狭山の雑木林横／環境を慈しむパッシブソーラー
によって快適さを追求した住まい



応募者 ■ (株)JWA建築・都市設計 渡辺 純

■ 光と香り



応募者 ■ 吉田 知也

■ 住みごちのいい家～床屋併用・二世帯住宅～



応募者 ■ 酒井 匡美

■ 恵みの家
－ 自然の恵みと断熱性能で光熱費を抑える家－



応募者 ■ 近藤建設(株) 發知 良幸

■ 自分らしい『住まいのカタチ』を見つける場所



応募者 ■ 近藤建設(株) 上村 勝則

■ 住まいの領域



応募者 ■ 鈴木淳史建築設計事務所 鈴木 淳史

■ 盆栽町の家



応募者 ■ 高橋 博朗

■ 四季を楽しむ家



応募者 ■ (株)アキュラホーム 新熊谷営業所

■ 中庭のある家



応募者 ■ (株)アキュラホーム 本庄営業所

■ エネルギー収支ゼロを超える住まい



応募者 ■ パナホーム(株) 渡辺 一生

■ 人の動きに配慮した、
太陽光をスマートに受入れる家



応募者 ■ (株)アキュラホーム 本庄営業所

■ 自然と共存する 住みごちの良い家



応募者 ■ (株)アキュラホーム 太田 恵莉

応募作品(建築部門)

■ 小江戸に溶け込む”昔ながら”を生かしたエコ住宅



応募者 ■ (株)アキュラホーム 波多野 由美、菘和 由貴

■ SaitamaCity TSUKAMOTO White House ～住宅街に佇む環境に優しい要塞～



応募者 ■ ケイアイスター不動産(株) 戦略開発部
くらしデザイン研究所 小林 栄和

■ 都市の中の森に住まう 一垣根に寄り添い、あたたかな西日を受けとめるー



応募者 ■ ビオ・ハウス・ジャパンー級建築士事務所
石川 恒夫

■ 通り土間のある家



応募者 ■ ビオ・ハウス・ジャパンー級建築士事務所
石川 恒夫

■ 自然と共生するインナーガレージハウス



応募者 ■ (株)OKUTA LOHAS studio
デザインチーム

■ 自然エネルギーで住まう家～風・光・水が織り成す空間～



応募者 ■ (株)アキュラホーム 花田 理紗

■ 街育プロジェクト 結美の丘



応募者 ■ (株)中央住宅 本堂 洋一

■ 距離とスキマをつくること 地域環境に関与する小さな住宅



応募者 ■ アトリエ・アンド・アイ 久野 靖広

■ 自然のぬくもりと触れ合う家



応募者 ■ (株)アキュラホーム 須藤 大樹

■ 自然と共に暮らす木のある住まい



応募者 ■ (株)アキュラホーム 堀内 国士

■ 自然エネルギーをフル活用するすまい



応募者 ■ パナホーム(株) 磯崎 美和

■ サイクルガレージのある和風モダンな家



応募者 ■ (株)高砂建設 長島 宏晃

応募作品(アイデア部門)

■和紙と珪藻土の活用



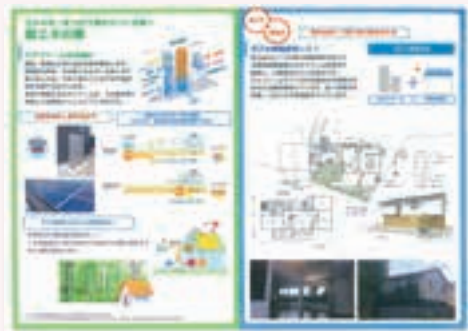
応募者 ■ 佐藤 豊

■過去と未来の融合



応募者 ■ 駒井 聖憲

■エネルギーをつかう家からつくる家へ創エネの家



応募者 ■ (株)アキュラホーム 片野 翔

■自然の力



応募者 ■ (株)アキュラホーム 中尾 瑠美

■自然の力で「エコ心」をはぐくむ



応募者 ■ (株)アキュラホーム 風間 健太

■和みパネルのある家



応募者 ■ (株)アキュラホーム 田中 文章

■木のまづくり ～スマートウェルネスシティを目指して～



応募者 ■ (株)検査住宅 島元 祐二

■省エネ設計の家



応募者 ■ (株)アキュラホーム 本庄営業所

■自然と共生する木の家



応募者 ■ (株)アキュラホーム 本庄営業所

■緑側のある家



応募者 ■ (株)アキュラホーム 宮澤 拡大

■～環境配慮と家事動線を考慮した店舗併用住宅～



応募者 ■ (株)アキュラホーム 内田 靖盛

■雨水を使う家



応募者 ■ (株)アキュラホーム 安倍 栞

応募作品(アイデア部門)

■ 太陽を味方にした家



応募者 ■ (株)アキュラホーム 安倍 菜

■ 井戸のある家



応募者 ■ (株)アキュラホーム 菊池 嘉彦

■ 雨水貯水タンクを利用してエコ住宅へ!



応募者 ■ (株)アキュラホーム 白川 有美

■ 寒暖色を利用したエコ住宅



応募者 ■ (株)アキュラホーム 白川 有美

■ 環境と住宅の共存～エコガーデニング～



応募者 ■ (株)アキュラホーム 星野 翔大

■ 中庭のある家



応募者 ■ (株)アキュラホーム 花田 理紗

■ グリーンカーテンはじめました。



応募者 ■ (株)アキュラホーム 花田 理紗

■ 雨の日だけのお楽しみ



応募者 ■ (株)アキュラホーム 吉永 るい

■ 光熱費削減



応募者 ■ (株)東京ガス 阿久根 幸晴

■ パーチカルブラインドを用いた快適な暮らし



応募者 ■ (株)アキュラホーム 佐々木 尚子

■ ミストのおもてなし



応募者 ■ (株)アキュラホーム 川人 康平

■ 空き家建替えによる環境負荷の軽減



応募者 ■ (株)アキュラホーム 仲 俊徳

応募作品(アイデア部門)

■ 狭小地における住宅計画案



応募者 ■ (株)アキュラホーム 中田 侑基

■ 生まれ変わるエコ収納



応募者 ■ (株)アキュラホーム 岡本 博次、福田 規良

■ 環境に優しいお家



応募者 ■ (株)アキュラホーム 庄司 彩香

■ ステップ付キッチンで親子仲良くお料理できる家



応募者 ■ (株)アキュラホーム 西山 竜平

■ 家庭菜園でエコ生活



応募者 ■ (株)アキュラホーム 小川 大

■ 雨水を活かしたECO



応募者 ■ (株)アキュラホーム 相澤 裕一郎

■ エコライフ住宅



応募者 ■ (株)アキュラホーム 内田 貴

■ 風と共に暮らす住まい



応募者 ■ (株)アキュラホーム 本田 梨奈

■ 「住ごちのいい家」リフォーム



応募者 ■ (株)アキュラホーム 岡本 博次、福田 規良

■ 自然エネルギー活用住宅



応募者 ■ (株)アキュラホーム 李 政彦

■ 木のぬくもりを感じる家



応募者 ■ (株)アキュラホーム 斉藤 光

■ 緑窓



応募者 ■ (株)アキュラホーム 斉藤 光

応募作品(学生部門)

■ 自然から生まれる



応募者 ■ 埼玉県立大宮工業高等学校 滝澤 麻由

第3回埼玉県環境住宅賞の概要

埼玉県環境住宅賞とは

地球温暖化防止など、環境への負荷が少ない住まいづくり・住まい方をすすめるため、工夫やアイデアに富んだ住宅・住まい手を募集し表彰するものです。

主催 埼玉県住まいづくり協議会

後援 埼玉県

対象

部門	建築部門	リフォーム部門	住まい手部門	アイデア部門	学生部門
対象となる住宅・取り組み	県内に建築された環境にやさしく、居住性に優れた住宅のうち平成17年1月1日～平成27年6月30日までの間に確認済証を受けた住宅	県内に建築された環境にやさしく、居住性に優れた住宅のうち平成27年8月31日までにリフォームした住宅	環境に配慮した住まい方の工夫や住宅を長く使用するために行っている取り組み	環境に配慮した次世代の住宅や住まい方のアイデア	学生による環境に配慮した次世代の住宅や住まい方のアイデア

審査委員 (敬称略、五十音順)

委員長 三井所 清典 公益社団法人日本建築士会連合会 会長
 委員 秋元 智子 認定NPO法人環境ネットワーク埼玉 理事・事務局長
 委員 片渕 重幸 一般社団法人埼玉建築士会 常務理事
 委員 佐藤 啓智 一般社団法人埼玉県建築士事務所協会 副会長
 委員 外岡 豊 埼玉大学経済学部社会環境設計学科 教授





第3回
埼玉県環境住宅賞作品集

発行：埼玉県住まいづくり協議会
☎048-830-0033